

WORKS

Empower&Energize

No145
2020/03

名東福祉会は名古屋市と日進市を中心に
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

日中活動における

「自立課題」の導入について

名東福祉会 理事長 山田達巳

レジデンス日進が日中活動に「自立課題」を取り入れ、なんとか半年継続することができましたので、経過報告の意味も込めて、導入のきっかけ、実践場面等について紹介してみたいと思います。

名東福祉会にはメイトウ・ワークス、太白ワークス、はまなすの日中活動事業所があります。レジデンス日進の日中活動についても、3事業所同様に、方向性のはっきりした活動を提供したいという思いがありました。ただ、入所施設の大きな役割が生活支援であることから、夜間支援の充実が先行される課題であり、職員の体制上の影響などから、季節感のあるイベントや月1回の和太鼓・音楽療法、週1回の創作活動は積極的に企画されていましたが、日常的にはやりとりの手段としての位置付けで下請け作業の提供が続いていました（「工賃」を意識できる人には安定的に下請け作業の提供をおこない、毎月の工賃をお支払いしています）。

レジデンス日進の約半数の利用者が自閉症ということもあり、常に不適切な行動への対応に追われ、悩み続けています。このような状況の中で、昨年、職員から新たな試みとして日中活動に「自立課題」を取り入れてはどうかとの提案がありました。この提案をきっかけにレジデンス日進の日中活動を大きく見直すこととなります。


「自立課題」に関しては、これまで実施した経験がなく、書籍、研修、実施されている事業所等を参考に、手探りの状態ではありましたが、約半年間の準備期間を経て、昨年の8月中旬から自閉症の人に特化した日中活動をスタートさせました。活動場所については、レジデンス日進本体に比べ刺激の少ない環境（レジデンス日進から少し離れた上ノ山作業棟）を用意しました。

また、「自立課題」が自閉症の人のみに有効なプログラムではないことから、レジデンス日進本体のデイサービス2Fでは、上ノ山作業棟と同様に課題を複数用意しています。実際には、「物が並べられる」「物を積める」「引っ張ることが出来る」といった利用者のできることを意識して作成されています。

上ノ山作業棟では、ひとりひとりが

継続しておこなうことのできる課題を個別に用意します。デイサービス2Fでは、課題を職員が選んで提示するのではなく、利用者自身が主体的に選ぶことに期待し、その都度好きな課題を選んで活動してもらおうスタイルになっています。

現時点では、課題が準備でき、大まかな動きが確定したところですが、今後、この「自立課題」がどのように発展し、利用者の満足に結びついていくのかは、私たちにとってむずかしくもあり、楽しみな課題でもあります。

 「自分で選ぶ」
を支援する。

上ノ山作業棟

主に自閉症の方が利用。
取り組みの最初から最後まで、
ご本人が関わる「自立課題」を提供。
「選ぶ・決める」プロセスの体験を
積み重ね中。

作業棟多目的スペース



刺激を減らしたスペース



それぞれの自立課題



机でやらないときもある



課題を自分で準備する





課題を自分で片づける



素早く準備、素早く開始

レジデンス日進

副所長 脇本浩行

上ノ山作業棟での新しい活動が始まり、約半年が経ちました。「作成した自立課題を提供してみると、本人に合わず半日で壊れている」、そんなことが開始当初は多々ありました。現在は、活動の流れに、利用者の方、職員ともに慣れてきて、「それっぽく」なってきたかな……というように思っています。

自立課題を始めてみようとなったきっかけは、一部の利用者の方が、日中居室に戻らなければいけない、という構造を改善しよう、というところから、じゃあ日中出来ることを増やさなければ、ということを月1回の全体会議で話題にしている時、ある職員から「自立課題なんていいんじゃないか」という提案がありました。検索し、画像を見てこんな感じかと話題を進めていると、また違う職員から「こんな本あるみたいですよ」とすでに自立課題に取り組んでいる施設の方が監修した本の紹介がありました。そこで、会議終了後早速、所長に購入のお願いをし、始めていくきっかけとなりました。

新しい活動が始まり、日中居室に戻

り2時間ほどお昼寝してしまい、生活リズムが崩れるといった様子は改善されましたが、「課題を自ら準備する↓完成させる↓片づける」、そのプロセスをおこなえている方は、まだまだごく一部です。どのタイミングで支援をしていくか、どのように勧めるか、職員自身も経験を重ねています。

「それっぽく」と表現しましたが、「それっぽく」見えるようになれば、当然次の課題が出てきます。「自立課題を始めよう」と決断し、実際に課題を作り、みなさんに提供できるようにになりました。今度は、より個々の特性に合ったもの、もっと楽しめるものを考えていかなければなりません。個別の活動スペースも同様で、当初は統一した環境設定を想定していましたが、個々の特性に合ったものへ変更していかなければならなくなっています。

「自立課題」「個別化・個別支援」「構造化」など、よく耳にするワードですが、改めて難しさを痛感しています。これらのことを、本当の意味で理解し、形にし、より良い活動を提供出来るよう、職員みんなで悩んでいきたいと思います。

デイサービス2階

さまざまな障害の方が利用。
興味のあることに自ら関わっていく、
という行動を引き出したい。
日々、工夫をこらした活動内容を
試行錯誤中。



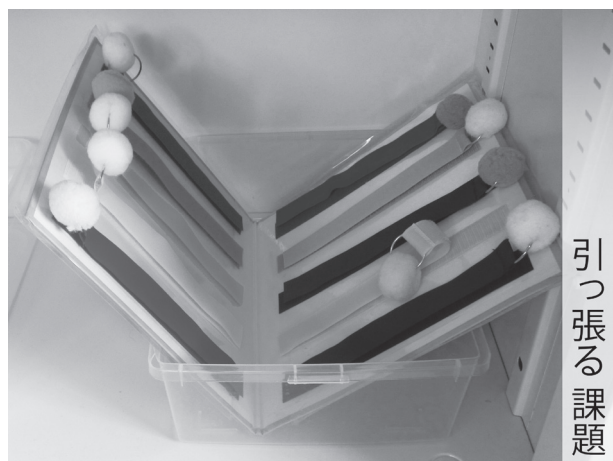
「自由カゴ」の棚



デイサービス2階の様子



並べる積む課題



引っ張る課題



並べる入れる課題



選ぶ



選ぶ



通す、引く、張る



並べる、積む

レジデンス日進

支援員 中田尚子

デイサービス2Fでは、課題の使用手法や取り組むタイミングを全て本人にお任せするという目的から、課題自体を「自由カゴ」と呼んでいます。

「自由カゴ」を準備するにあたっては、100円ショップやホームセンターに出掛けて「きつとこの感触が好きだろう」「ひもを触っていると落ち着くのかな?」など、ひとりひとりの日常生活における行動から想像を膨らませます。「ストロー口のあるカップ」や「マジックテープ」など材料を集め、15種類が出来上がりました。

まずは、利用者さんが自ら自由カゴの並んでいる棚へ行き、カゴを取り出すことを目標としました。この2つの動きを理解していただくために、慣れている下請け作業を入れた個別のカゴを用意して、それらを一緒に取りに行くところから始めました。

この動きは大きな環境の変化でしたが、利用者さんは比較的早い段階で対応され、下請け作業のカゴを自由カゴに移行させることができました。今では休憩時間にも自らカゴを出す様子が

見られます。

3か月経過したあたりから、安定的に興味を持って貰えるカゴとほとんど興味を示して貰えないカゴとに分かれてきたことで15種類のうち半分は変更が必要となりました。再度100円ショップに足を運び、修繕や改良を加え、新たな課題を作成することになります。この作業は今後も続いていきそうです。ただ、デイサービス2Fは自閉症の方だけではなく、様々な特性のある利用者さんが活動しています。それでも同じカゴに興味を集中する傾向にあることは、注目していきたい点だと思えます。

今後は、興味をさらに掘り下げ、同じ「入れる」という行為であってもひとりひとりに応じた課題を作成すると同時に、自由カゴを使用する利用者さんの新たな可能性にも目を向けることが必要だと感じています。

自分で選ぶ
を支援する。

ご寄付ありがとうございます

令和元年10月1日～令和2年2月29日

◆天白ワークス

天白ワークス家族会 様

◆はまなす

はまなす家族会 様

◆レジデンス日進・上ノ山ホーム

江口敏比古 様 吉田 征一 様 林 輝夫 様 伊藤 和幸 様

近藤 正俊 様 村口 龍一 様 石田 文子 様

レジデンス日進家族会 様 上ノ山ホーム家族会 様

◆本部

医療法人ふくしまファミリー内科 福嶋 俊郎 様 (株)BEX 様

名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>



●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●メイトウ・ワークス（生活介護）

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303

TEL 052(702)2864 FAX 052(701)2079

●天白ワークス（生活介護）

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327

TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

●はまなす（生活介護・相談支援）

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911

TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

●レジデンス日進

（施設入所支援・短期入所・生活介護）

〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●上ノ山ホーム（グループホーム）



← 『WORKS』バックナンバーはこちらから